

# 平成 22 年第 4 回庄原市議会定例会

## 一般質問通告者 及 び 質問事項

6月21日～6月23日

### 質問順位

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 藤 木 邦 明  | 2. 門 脇 俊 照  |
| 3. 赤 木 忠 徳  | 4. 中 原 巧    |
| 5. 横 路 政 之  | 6. 坂 本 義 明  |
| 7. 田 中 五 郎  | 8. 谷 口 隆 明  |
| 9. 宇江田 豊 彦  | 10. 小 谷 鶴 義 |
| 11. 福 山 権 二 |             |

庄 原 市 議 会

# 平成22年6月定例会 一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	藤木 邦明	庄原保育所の建て替えについて	1
		薪ストーブ購入への助成金について	1
		出産医療の再開について	1
		高齢者用駐車場の整備について	1
		盲導犬の導入に市独自の助成を	2
2	門脇 俊照	環境モデル都市をめざしませんか	3
		トランスヒートコンテナによる廃熱利用について	3
		風洞発電所建設の誘致	4
		韓国ドラマのロケを誘致しませんか	4
		新商業施設の建設を検討しませんか	5
		庁舎駐車場について	5
3	赤木 忠徳	テレビデジタル化に向けて対策は万全か	6
4	中原 巧	総領町を通過する国県道等の整備方向について	7
		庄原市防災無線及びオフトーク通信のありようについて	8
5	横路 政之	観光振興について	9
		儲ける観光の充実について	9
		児童虐待防止について	10
6	坂本 義明	庄原市の農業施策とJA庄原の協力関係について	11
		芸備線利用促進対策について	11
7	田中 五郎	市営トマト試験栽培施設を核とした庄原トマトブランド化産地の推進について	12

順位	質問議員	質問項目	ページ
8	谷口 隆明	合併特例法の終了を受けて合併の検証を	13
		企業の地元からの撤退について	14
9	宇江田豊彦	公契約条例について	15
		障害者雇用の促進と障害者団体等の側面的支援策について	16
		消費生活相談の現状と課題について	17
		庄原さとやまペレット株式会社によるペレット生産状況について	18
10	小谷 鶴義	定期バス路線変更決定について	19
		指定管理者制度の今後について	19
		農業委員会の活動について	20
11	福山 権二	職員不祥事に関する調査特別委員会最終報告に対する市長の見解等について	21
		地域振興対策について	22

※一般質問（予定）

6月21日（月） 藤木邦明・門脇俊照・赤木忠徳・中原巧

6月22日（火） 横路政之・坂本義明・田中五郎・谷口隆明

6月23日（水） 宇江田豊彦・小谷鶴義・福山権二

順位	1	質問者	藤木 邦明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原保育所の 建て替えにつ いて	<p>(1) どのような基本構想を定めたのか。</p> <p>(2) 保育定員は 200 名程度にするのか。</p> <p>(3) 木造平屋建にするのか。また、窓は断熱性の高いペアガラス、完全冷暖房、床暖房にするのか。</p> <p>(4) 駐車場は 150 台程度に増やす考えはないのか。</p> <p>(5) 敷地面積は当初の計画より何㎡程度増やすことにしたのか。</p> <p>(6) 市道上原戸郷線の部分は 2 車線とし、歩道は両側に整備するのか。</p>		市長
2. 薪ストーブ購 入への助成金 について	二重燃焼する薪ストーブの購入に助成金を出すことにしたのか。		市長
3. 出産医療の再 開について	<p>(1) 三次市の谷岡産婦人科が 9 月から産科を休止すると報道されたが、三次中央病院だけで対応可能なのか。</p> <p>(2) 当面、庄原赤十字病院での院内助産所の開設を急ぐべきではないか。</p>		市長

順位	1	質問者	藤木 邦明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
4. 高齢者用駐車場の整備について	市庁舎の駐車場が遠いので、市庁舎前広場に高齢者用駐車場を整備すべきではないか。		市長
5. 盲導犬の導入に市独自の助成を	盲導犬の更新時期を迎えた方がおられるが、九州盲導犬協会の場合、盲導犬の更新導入につき、2週間の宿泊研修費5万円、ハーネスの更新2万円、往復の旅費3万円、計10万円の自己負担が必要で、さらに、その間の収入が0円となる。市独自の助成金を検討すべきではないか。		市長

順位	2	質問者	門脇 俊照	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 環境モデル都市をめざしませんか	<p>世界が地球温暖化対策に向けて大きく動きはじめている。</p> <p>環境モデル都市は、平成20年7月、全国82の自治体が応募され、横浜市や富山市など6団体が選定されている。選定されることにより、エコに関する国の委託事業や予算獲得がスムーズになること、排出権獲得、新エネルギーの創出により、雇用や地域活性化に大きな役割を果たすことができる。本市も環境モデル都市に応募される考えはないのか伺う。</p>	市長				
2. トランスヒートコンテナによる廃熱利用について	<p>聞き慣れない言葉だが、環境省が現在もつとも関心を示している。焼却場の未利用の熱をトレーラーで温泉施設や病院などに宅配するシステムのことである。</p> <p>未利用のエネルギーを効率的に活用することで、CO<sub>2</sub>を大幅に削減することが可能となっており、導入する考えはないか伺う。</p>	市長				

順位	2	質問者	門脇 俊照	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
3. 風洞発電所建設の誘致	<p>風洞発電は、世界初のタワー型の風力発電で、微風でも発電できるシステム、日量 3,000 キロワットの発電が可能である。</p> <p>まだ実用化されていないが、今年中に実証タワーが久留米市で建設される予定である。</p> <p>市が窓口になり電力会社などが運営するのがベストである。</p> <p>すでに、緑の分権で 550 万円の調査費が出ている。</p> <p>誘致する考えはないか伺う。</p>		市長	
4. 韓国ドラマのロケを誘致しませんか	<p>北海道では、韓国のドラマや映画のロケが相次いで行われ、美しい雪景色と熱心な誘致活動が功を奏し、札幌市や小樽市などで撮影、韓流の舞台として注目を集めている。</p> <p>韓流ドラマの再放送は中国、台湾、日本でも放送され庄原市のPRにもなり、他県やアジアからの誘客効果が期待される。</p> <p>ロケを誘致すべきと思うが、考えを伺う。</p>		市長	

順位	2	質問者	門脇 俊照	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
5. 新商業施設の建設を検討しませんか	<p>中国横断自動車道尾道松江線の開通が期待される反面、入り込み客の増より、他市への買い物、観光地への流出割合が高くなると心配する。</p> <p>本市を訪れる観光客、国営備北丘陵公園に来られる人達に話を聞くと、庄原では買い物する楽しみがないと言われる。</p> <p>観光客に満足していただけるショッピングモールかアウトレットモールが必要である。</p> <p>本市に新商業施設の建設を検討される考えはないか伺う。</p>		市長	
6. 庁舎駐車場について	<p>新庁舎の駐車場は、狭い上に複雑になっている。</p> <p>スーパーや大型施設の駐車場は、できるだけ広く利用するため、駐車するラインとストッパーだけである。</p> <p>また、新庁舎は駐車場から庁舎まで、屋根付きの通路がない。</p> <p>市民の利便性を考える必要があるのではないかと思うが、考えを伺う。</p>		市長	



順位	3	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. テレビデジタル化に向けて対策は万全か	<p>アナログ放送が停止される平成 23 (2011) 年 7 月 24 日時点で、23 万世帯約 100 万人が地デジ視聴できなくなるといわれている。地デジ難視対策として、国は衛星放送を使って対応しているが、東京の放送のため、地域の情報や災害情報などが届かないことや、地デジ難視対策衛星放送は、地上デジタル放送の恒久的な伝達手段が整備されるまでの代替手段として暫定的に実施されるものであり、平成 22 (2010) 年 3 月の開始から 5 年間で恒久的な伝達手段の整備、デジタル難視聴対策に取り組むように指示されている。</p> <p>(1) 総務省は本年 5 月 25 日、目標 81.6% を超える 83% の普及率を発表したが、本市の現状 (普及率・難視聴地域数・難視聴世帯数) 及び難視聴対策は進んでいるか。</p> <p>(2) 最近、極微小電力放送局、ギャップファイラーが注目されている。経済的かつ迅速に置局可能であることなど多くの利点があり、しかも 1/2 の補助が受けられることから、兵庫県香美町や篠山市、新潟県柏崎市など各地域で整備されている。このギャップファイラー方式が、本市では最も適した難視聴対策と考えられる。早急に検討する必要があると思うが、お考えを伺う。</p>		市長

順位	4	質問者	中原 巧
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 総領町を通過する国県道等の整備方向について	<p>公共事業が財政悪化の根源ともいわれる今日、本市においては基幹産業である農林畜産業の振興を後押しする公共事業の推進は必要不可欠であり、どのような方策で国県道等の整備を早急に展開しようとしているのか伺う。</p> <p>(1) 緑資源幹線林道支線高尾小坂線の庄原三和区間は、いつどのように整備の方向が決定するのか。</p> <p>(2) 一般県道中領家庄原線は、今年度見直される予定の整備計画に掲載され事業執行されるのか。</p> <p>(3) 工法や財源が理由で、今日人命が軽視される傾向が見受けられるが、人命を尊重し国道432号の歩道は整備されるのか。</p> <p>(4) 主要地方道三良坂総領線の未改良区間1,200mは、いつ整備の計画がされるのか。</p> <p>(5) 未改良率62.4%の主要地方道甲山甲奴上市線はどのように改善される予定か。</p> <p>(6) 一般県道高光総領線の未改良区間である五領自治会館東側210mの用地の取得状況と改良の予定はどうか。</p>		市長

順位	4	質問者	中原 巧		
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
2. 庄原市防災無線及びオフトーク通信のありようについて	<p>防災無線による通信業務は災害基本法等の諸法令に基づくもののほか、一般行政事務や市長が必要と認める事項を条例で定められ、オフトーク通信は地方自治法の規定により電気通信事業法により通信施設が設置され、営利目的の宣伝情報以外は、ほぼ防災無線と同様な告知業務を行い、市民の安全な生活を守る防災情報や行政の重要な情報をより迅速に伝達することにより、多くの市民から親しまれ、喜ばれている。</p> <p>しかし、条例や規則は整備されているものの、告知業務の内容等に差異を感じている。支所長の判断に任せるだけでなく、統一した指針等作成され、同じ市民として情報が共有でき、より市民から愛される業務運営が図られるべきと思うが見解を伺う。</p>			市長	

順位	5	質問者	横路 政之	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 観光振興について	<p>本市には、全国に誇れる観光資源が多数存在する。本年秋からは「庄原さとやま博」と称して全国へ庄原市の魅力を発信する企画も予定されている。しかし、一部の観光資源ではその魅力が十分発揮されていないように思える。</p> <p>本市が誇れる観光資源として、帝釈峡があると思うが、どう認識されているか。</p> <p>帝釈峡の魅力として、遊歩道の散策が考えられる。全国に誇れる観光資源とするためにも、実態に合った遊歩道の整備をすべきではないか。</p>			市長		
2. 儲ける観光の充実について	<p>(1) 本市では、市民が儲ける観光をめざして、観光振興プロジェクトを策定されている。今日までの成果と課題を伺う。</p> <hr/> <p>(2) 市民が儲ける観光をめざす4つの施策に、まちなかの空き店舗を活用した起業への支援として、起業支援補助金、中心市街地活性化補助金がある。</p> <p>今日までの成果はどのようになっているか。また、定住促進のためにも対象区域を拡大し、補助限度額も拡大してもいいのではないか。</p>			市長		

順位	5	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 児童虐待防止 について	<p data-bbox="501 514 1173 614">児童の虐待がさまざまな理由で増加し、深刻さを増している。</p> <p data-bbox="501 630 1173 730">(1) 本市における児童虐待の実態はどうなっているか。</p> <hr/> <p data-bbox="501 750 1173 1027">(2) 虐待防止の手段として、虐待や育児放棄、経済的な困窮などの問題を抱える家庭の保護者や子どもに専門的見地に対応し効果を挙げているスクールソーシャルワーカーを配置してはどうか。</p> <hr/> <p data-bbox="501 1047 1173 1204">(3) 相談の受け皿の拡大として、専門知識のある社会福祉士をさらに増やすべきであると思うが、考えを伺う。</p>		教育長

順位	6	質問者	坂本 義明	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 庄原市の農業 施策と JA 庄原 の協力関係に ついて	<p>(1) JA 庄原が実施予定の水稲育苗施設整備へ助成することとなっているが、その補助額及び計画内容はどのようになるのか伺う。</p> <p>(2) 安全・安心やこだわりの食品が求められる中、地域の素材や技術を生かした特産品づくりは地域活性化の手段の一つと考えるが、どのように計画し、農家を指導しているのか。また、これに対する JA 庄原とのかかわりをどのように考えているのか。</p> <p>特産品（庄原ブランド）の販売計画方法についての JA との協力関係、さらに産直八木店への JA の協力関係はどのようになっているのか伺う。</p>		市長	
2. 芸備線利用促進 対策につい て	<p>(1) 過去3年間の市内各駅の利用者数の推移及び、市としてどのような利用促進対策を行っているのか伺う。</p> <p>(2) 市内各学校が学校行事を行う際の利用状況はどのようになっているのか。</p>		市長 教育長	

順位	7	質問者	田中 五郎
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 市営トマト試験栽培施設を核とした庄原トマトブランド化産地の推進について	(1) 大島造船所が破格の資本投資をしながら撤退せざるを得なかったシステムを継承して、トマト産地作りの核にするに至った根拠は。(試験・研究・後継者育成システムを整備しての産地作りは、滝口市政最大の農業振興施策のはず。)		市長
	(2) その意思決定には、相当の調査(情報収集)と検討(関係機関)がなされたはず。その中身はどうか。		
	(3) トマト農家の担い手を育てる極めて責任ある施設。その指導体制はどうなっているか。		
	(4) 指定管理者がなぜ農林振興公社でないのか。		
	(5) 施設の所有権はいつ市に移り、土地の利用権はどのように整理しているのか。 (大島造船の利用権契約に、返還時現況復帰条項が入っていたか。)		

順位	8	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 合併特例法の 終了を受けて 合併の検証を	<p>(1) 市町村合併特例法は3月末で期限切れとなった。本市では、合併の成果と問題点をどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 合併算定替えて、周辺部に本来配分されるべき地方交付税は、中心地域と低い水準でならされてしまい、周辺地域が取り残される可能性が高い。合併特例債の配分など、周辺部に配慮した財政運営になっているのか、前期5年間の結果を示されたい。</p> <p>(3) 自立を選択した小さな町が、合併による均一化の弊害を免れ、単独だからこそできる独自の道を歩み成果を挙げている。そうした町づくりに学び、緊急に元役場から遠い地域や役場周辺に手当てを取るため、県の支援も受けて特別の対策をとること（自治振興区への人的配置など）が必要だと考えるが、考えを伺う。</p> <p>(4) 小学校・保育所・県立高校などの統廃合は、地域の疲弊を加速させる。教育的な観点とともに、将来を見通した地域づくりの観点も必要だと考える。これ以上市内の学校や保育所の再配置はしないことや、県立高校の存続も大きな課題だ。市としての対応方針を問う。</p>		市長



順位	8	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 企業の地元からの撤退について	<p>西城町の大規模事業所(株)サンエーマイクロセミコンダクタが撤退すると聞く。従業員120人の家族と地域経済への影響は計り知れない。行政として、強く存続を求めていくべきだと考えるが、市としての対応は。</p>		市長

順位	9	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 公契約条例について	<p>平成 12 (2000) 年「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」が制定され、平成 18 (2006) 年には、指針が示されて一般競争入札を導入する自治体が増えていった。</p> <p>一般競争入札の拡大は、談合問題には効果はあるものの過度の競争により、公共工事・公共サービスの品質が心配される側面も出てきた。</p> <p>そこで国は平成 17 (2005) 年に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を制定したが、それに加え、公契約法の制定を必要とする自治体が、国へ対して法制定を要望するも、全く国の動きはなく、全国に先がけ千葉県野田市において、公契約条例が制定された。</p> <p>(1) 市長はすでに条例内容等にふれられていると思うが、どのようにとらえられているか伺う。</p> <hr/> <p>(2) 今後の対応として、本市においても公契約条例が必要と思うが、国に対して法制化の取り組みを進めるのか、本市条例として考えるのか。市長の所見を伺う。</p>		市長

順位	9	質問者	宇江田 豊彦	答弁を 求める者	市長
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
2. 障害者雇用の 促進と障害者 団体等の側面 的支援策につ いて	<p>政府は障害者雇用促進法の一部改正を行い、今年7月1日より、常用雇用者数 201 人以上の事業者には法定雇用率を適用し、平成 27 (2015) 年4月からは、101 人以上の事業者に拡大をし、障害者雇用の促進をしようとしている。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 備北地域には、障害者雇用促進法に基づく障害者就業・生活支援センターもなく、本市とすれば今後どのような取り組みを進めようとしているのか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) 障害者団体や作業所等の側面的な支援策について、市長は積極的な立場からの答弁をされていたが、その後どのような取り組みになっているのか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(3) 側面的な支援策では、県内では廿日市の取り組みが先進的実例であるが、本市においても同じくらいの策を講じることは可能と思う。どのようにお考えか伺う。</p>			市長	

順位	9	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 消費生活相談 の現状と課題に ついて	<p>消費者安全法第10条で、県には消費生活センターが置かれている。</p> <p>当センターの相談件数は、一昨年33,489件で前年に比べ4,977件、12.9%の減少になっている。</p> <p>なかでも、不当・架空請求に係る相談が前年よりも3,910件、39.1%減少している。</p> <p>(1)本市においても、消費者基本法第19条に基づき相談員が設置され、取り組みが進められているが、本市における現状と課題について伺う。</p> <p>(2)本市における相談件数と内容はどのような状況か伺う。</p> <p>(3)相談員、または職員が市民と業者の間に立って直接対応をしているのか伺う。</p> <p>(4)本業務では、相談員、職員のより高い認識が必要と考えるが、研修についてどのように行っているのか伺う。</p> <p>(5)パイオネットの活用状況について伺う。</p> <p>(6)当業務の啓発と予防啓発についてどのように行っているのか伺う。</p>		市長

順位	9	質問者	宇江田 豊彦	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
4. 庄原さとやま ペレット株式 会社によるペ レット生産状 況について	<p data-bbox="499 506 1177 719">木質バイオマス活用プロジェクトの中核的 事業としてスタートした庄原さとやまペレッ ト株式会社によるペレット製造について、当 初めざした状況になっているのか伺う。</p> <p data-bbox="499 730 1177 898">(1) 森林振興と森林環境再生をめざし、山 元へ利益還元をめざしているが、実態は どのようなになっているのか。</p> <p data-bbox="499 909 1177 1245">(2) 原材料について、議会での説明では杉・ ヒノキの間伐材だけでなく、林地残材や その他の原料についても受け入れるとし ていたが、実質は杉・ヒノキの幹だけし か受け入れていないと聞く。実態はどう なっているのか。</p> <p data-bbox="499 1256 1177 1357">(3) 今日までの生産量は目標通りに進んで いるのか。</p> <p data-bbox="499 1368 1177 1480">(4) 生産が始まってから、新たな課題が明 らかになった等、心配な点はないか。</p>		市長	

順位	10	質問者	小谷 鶴義
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 定期バス路線 変更決定につ いて	<p>今回、口和地区においてバス路線の変更を決定された。</p> <p>各地域の要望とは思うが、この路線決定に大きく左右された要素は何か。</p> <p>永田地域から路線変更に承諾しないとの署名が提出されたと聞いたが、このことは路線変更に左右したのか。</p> <p>永田発・向泉・大月・君田経由一三次路線、永田・大塩経由一三次行きの永田一口和運動公園入口乗車人数について、アンケートを取られたと聞いたが、結果について伺う。</p> <p>また、わざわざ医療機関の前を避けて迂回される路線決定がされたのはなぜか。</p>		市長
2. 指定管理者制 度の今後につ いて	<p>指定管理者制度による管理費負担は、今後も続けていける見通しがあるのか。</p> <p>管理費の値上げの要求が出ている施設もあると聞くが、指定管理者との協議はどのようになっているのか。支所への要望で対応しているのか、ふれあい市長室等での直接要望が効果があるのか、考え方を伺う。また、指定管理者の運営に対する考え方、経営の仕方は誰が指摘し、チェックしているのか伺う。</p>		市長

順位	10	質問者	小谷 鶴義
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 農業委員会の活動について	<p>農地パトロールを実施されたが、耕作放棄地、無断転用、農地の遊休化等の結果について何う。</p> <p>集積された結果をもとに行政への建議もされていると思うが、その結果は委員会だより等で公表されているのか。</p> <p>経営改善の支援、世話役の農家相談内容、情報提供等、例を挙げて報告されたい。</p> <p>また、農業委員会から見た庄原市の農業政策はこれでよいと思われるか。農業委員会として注文をつけたいことはないか何う。</p>		農業委員会 会長

順位	11	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 職員不祥事に関する調査特別委員会最終報告に対する市長の見解等について	<p>議会は、職員不祥事に関する調査特別委員会を設置して、水道事業関連の不祥事事件について調査し、3月議会で最終報告を行った。</p> <p>この報告をふまえ、次の点について、市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 徹底した情報公開が市長の基本的政治姿勢であるが、この事件の事実経過、事件の背景、関連した職員の違法性の内容、関連した業者の違法性、総括的判断、再発防止対策について、総括的見解を伺う。</p> <p>(2) 本市水道事業に関して、今回事件に関連した関係業者の中で、市に対して違法対応があった業者について、今後どのような対応をするのか。その内容を伺う。</p> <p>(3) 今回の職員不祥事事件について、広報しょうばら平成 21 (2009) 年 8 月号でお詫び文書掲載、平成 22 (2010) 年 3 月号で再発防止対策の政治姿勢報告掲載で、対市民報告を終了しているが、事件の重大性と再発防止のために、より詳細な報告を市民に行う必要があると思うが、市長の見解を伺う。</p>		市長



順位	11	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 地域振興対策 について	<p>市長は、地域の自治振興区を中心としたまちづくりを企画し、基本政策としている。市内88自治振興区を対象に自治振興区活性化会議を新設し、昨年度は総領、口和、東城地域の自治振興センター化を推進した。それぞれ、指定管理者制度を活用し、自治振興センターの管理運営も民営化した。</p> <p>地域主権を尊重する姿勢で、財政措置も進めているが、次の点について具体的に何う。</p> <p>(1) 全市自治振興センター設置をめざしているが、設置完了する時期の目標はいつか。</p> <p>(2) 自治振興センター全市設置完了までの間、設置地域と未設置地域とで行政の対応差があるのか。</p> <p>(3) 交通体系に関する地域の議論経過による決定と行政決定が食い違う場合には、その解決方法をどのように対応するのか。</p> <p>(4) 地域の公設公営保育所について、地域自治振興区の総意により、地域づくりとして将来設計する時、地域は現状維持を、行政は公設民営をめざす場合、地域の意思はどのように生かされるのか。</p> <p>(5) 全市に自治振興センターが設置された場合、この組織は行政の中でどのように位</p>		市長

順位	11	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 地域振興対策 について	<p>置づけられるのか。この組織に行政との任務分担として何を担当させるのか。</p> <p>-----</p> <p>(6) 全市に自治振興センターを設置して、地域間競争を刺激する対応では、全市平均的活性化は困難ではないか。東城地域のような広範囲多数の自治組織が存在するところは、その実情を踏まえた対応ができないのか。</p> <p>-----</p> <p>(7) 将来的には、地域のハード政策についても、自治振興区に協議決定、予算配分という方向性を考えているのか。</p>		市長